右/左　橈骨インターベンションパス　No.2

※　TRバンド　※

（　　号室）　　様　　歳（男・女）Dr

月　日	月　日（　）		月　日（　）	
	当日　検査後		翌　日	
アウトカム	＃4　動脈性の出血がない　（達成･未達成） ＃6　安静保持に対する苦痛が最小　（達成･未達成） ＃7　安静解除後の注意事項がわかる（達成･未達成）		＃5 出血以外の合併症がない（達成･未達成）	
時　間				
バイタルサイン R △ / BT ● / P ● / BP ∨ 70 / 40 / 160 60 / 39 / 140 50 / 38 / 120 40 / 37 / 100 30 / 36 / 80 20 / 35 / 60 10 / 34 / 40 ∧				
SPO_2				
アセスメント 胸部症状				
拍動性の出血				
穿刺部痛				
手指しびれ				
冷感･チアノーゼ				
動脈触知				
安静保時				
処　置　・　検　査	□シリンジポンプ･加圧バッグをカテ室に持っていく □ストッレッチャー(ベッド)で帰室（　：　） □帰室時ＥＣＧ施行 □ＨＲモニター装着 □2時間おきに2mlずつ減圧　（　：　） □2時間後2ml減圧　（　：　） □2時間後2ml減圧し残り翌朝迄　（　：　） ※出血時：Ｄｒコール □安静解除後尿バルーンカテーテル抜去可		□採血 □穿刺部消毒（深夜Ns施行） (イソジン消毒･カットバン保護) □ECG □HRモニター(要･不要)Dr確認	
注　射　・　内　服 **＊血糖降下薬変更時記入**	□夕食後より抗生剤3錠3×n.2日間内服 □			
食　事	□1･2例目 昼遅食(おにぎり食) □夕食までおにぎり食		□通常通り	
説　明　・　指　導	□安静度・安静解除時間の説明 □変りがあれば直にナースコールするよう説明 □疼痛時、薬が使えることを説明		□2日間重い物を持ったり、強く手を突いたりしないよう説明	
安　静　度	□手関節の安静保持でトイレ洗面可 □キュータス保護後、安静解除		□指示通り	
清　潔	□清拭		□清拭	
看護特記事項 **※ﾓﾆﾀｰ記録は裏面貼付** （のりつけすぎ注意！）			※経過記録へ	
バリアンス	有　・　無	有　・　無	有　・　無	有　・　無
アウトカムナンバー	バリアンス有の時は、該当するアウトカムナンバーを書いてください。			
各シフト担当看護師ｻｲﾝ	日　勤	準　夜	深　夜	日　勤

2006．8．24　函館市医師会病院　循環器科